

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名		県立八戸高等支援			学校	
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数・数学 ☐ 理科 ☐ 外国語・外国語活動 ☐ 生活 ☐ 音楽 ■図画工作・美術 ☐ 体育・保健体育 ☐ 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 ☐ 特別の教科 道徳 ☐ 総合的な学習（探究）の時間 ☐ 日常生活の指導 ☐ 生活単元学習 ☐ 作業学習 ☐ 遊びの指導 ☐ 特別活動 ☐ 自立活動 ☐ その他（情報）						
	単元(題材)名	色の性質（色彩構成）						
	単元(題材)の目標	・基本図形を元に構成を考え、同じ構成を有彩色と無彩色2つのパターンで彩色できる。 ・形や色から受ける印象や効果を感じ取ることができる。						
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2	年	14	人	
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	美術に興味・関心があり、課題に真面目に取り組む生徒が多い。三原色、補色、色相環などの基本事項は1年次に学習している。有彩色と無彩色の違いは分かるが、有彩色から明度の高低を判断することは難しい生徒が多い。 全員が iPad でピントを合わせて写真を撮影することができる。アプリを用いて写真を加工したことがある生徒とない生徒がいる。						
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad						
	使用したアプリケーションの名称	カメラ、写真					 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) ☐ コミュニケーション支援 (☐ 意思伝達支援 ☐ 遠隔コミュニケーション支援) ☐ 活動支援 (☐ 情報入手支援 ☐ 機器操作支援 ☐ 時間支援) ■学習支援 (■教科学習支援 ☐ 認知発達支援 ☐ 社会生活支援) ☐ 実態把握支援						
	I C T 活用のねらい	・ICT 機器を活用し、有彩色で着彩した作品を無彩色に置き換えることで、明度の高低の判断を容易にする。 ・毎回制作過程を撮影し、振り返りや評価に活用する。						
活用の状況と支援	活用の状況と支援	有彩色で彩色した作品を iPad で撮影し、写真アプリの画像加工の機能でグレースケールに変換することで、濃い青や赤は黒に近いグレーに、黄色やピンクは、明るいグレーになるということが分かり、無彩色に置き換えて彩色することができた。 授業の終わりに毎回撮影をすることで、作品の進捗状況を自分で確認することができ、制作のペースを調整することができた。						